

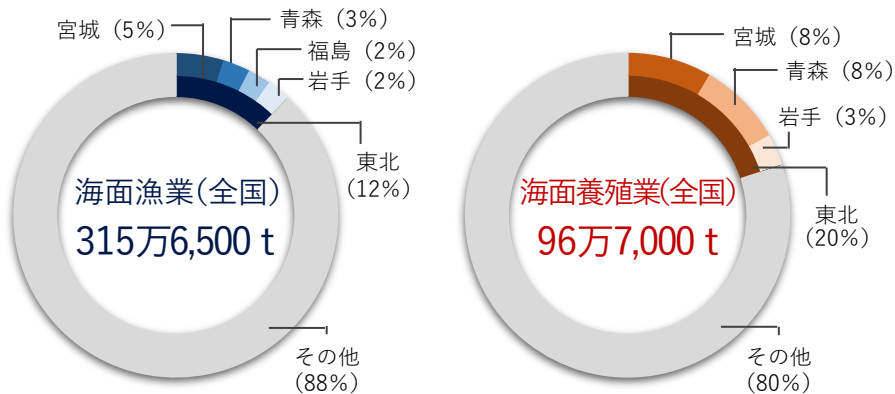
# テーマは「海面漁業・養殖業の生産量」



## 東北の全国シェアは漁業 12%、養殖業 20%

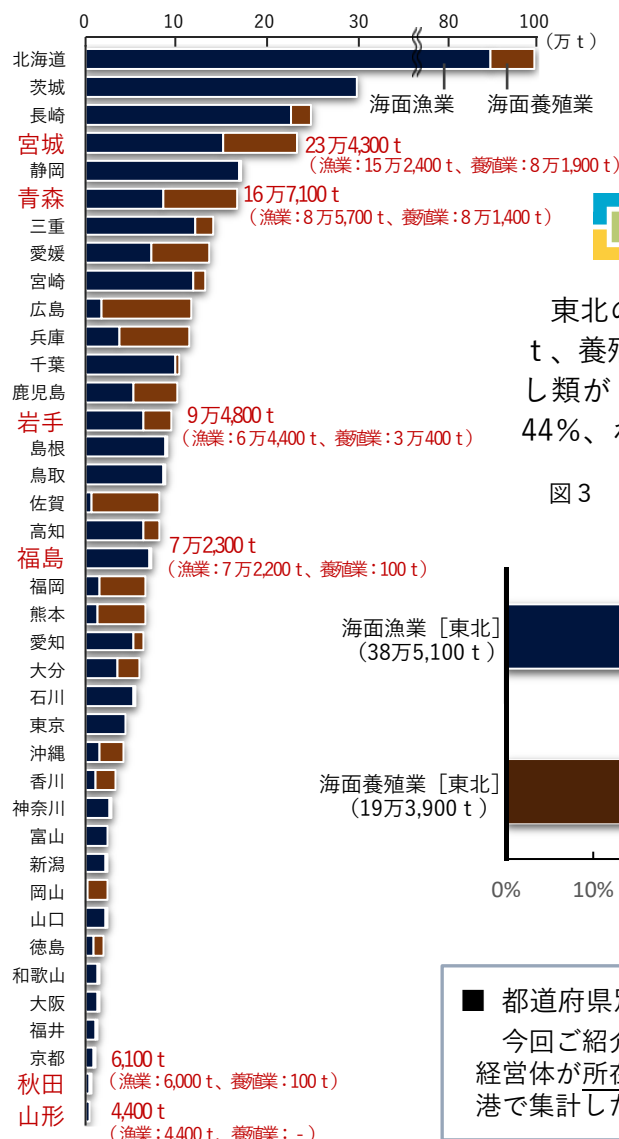
全国の海面漁業生産量（令和2年）は 315 万 6,500 t、海面養殖業生産量は 96 万 7,000 t、東北の全国シェアはそれぞれ 12%、20% となっており、東北各県は図1のとおりです。

図1 海面漁業・養殖業の生産量と東北が占める割合（令和2年）



※ 海面漁業の秋田及び山形は生産量が少なく 0%、海面養殖業の秋田及び福島は同じく 0%、山形は生産なし

図2 都道府県別海面漁業・養殖業生産量（令和2年）



## 宮城県、青森県が生産量上位にランク

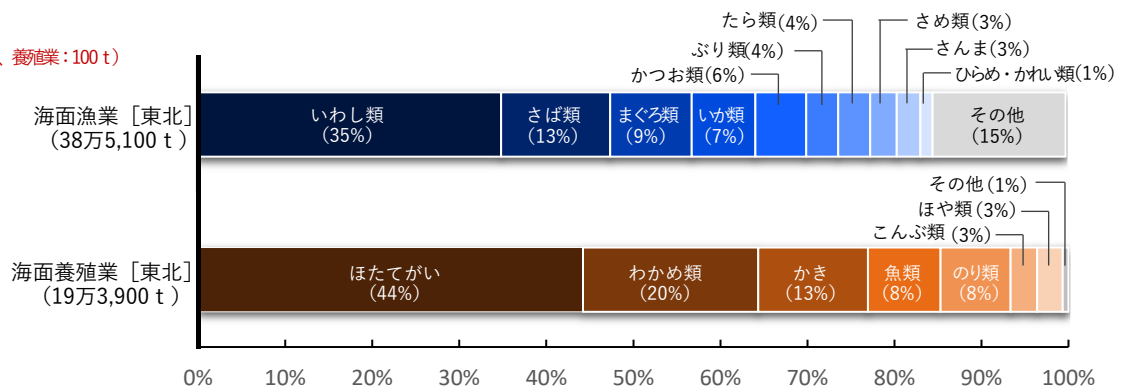
都道府県別の海面漁業・養殖業生産量では、宮城県が 23 万 4,300 t、青森県が 16 万 7,100 t で全国上位に位置しています（図2）。



## 漁業は「いわし類、さば類」で5割弱、養殖業は「ほたてがい、わかめ類」で6割強

東北の海面漁業・養殖業生産量（令和2年）は、漁業が 38 万 5,100 t、養殖業は 19 万 3,900 t でした。魚種別にみると、漁業ではいわし類が 35%、さば類が 13% で 5 割弱、養殖業ではほたてがい類が 44%、わかめ類が 20% で 6 割強を占めています（図3）。

図3 海面漁業・養殖業生産量と魚種別割合（令和2年、東北）



※ 東北値は東北6県の公表値を積算

### 都道府県別の生産量

今回ご紹介している「漁業・養殖業生産統計」のデータは、漁業経営体が所在する都道府県で集計（属人統計）しています（水揚げ港で集計したものではありません）。

用語解説

※ 茨城県及び東京都の海面養殖業は秘匿措置による「x」表示のため計上していない。

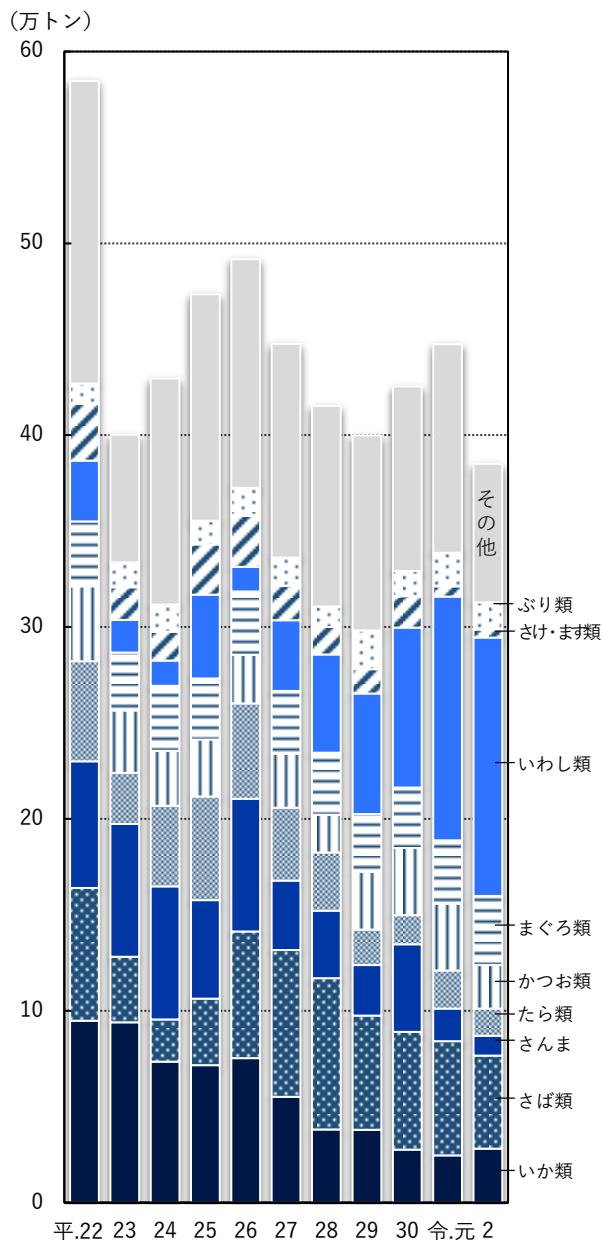


## 海面漁業生産量の上位魚種に変化（10 年前との比較）

東北における海面漁業の生産状況をみると、10 年前（平成 22 年）の生産量は 58 万 4,680 t、魚種別生産量はいか類、さば類、さんま、たら類の順でした。令和 2 年の生産量は 38 万 5,100 t、いわし類、さば類、まぐろ類、いか類の順となっており、生産量の減少と魚種別生産量に変化があります。

特に、いか類は 9 万 4,884t から 2 万 8,200 t（△70%）、さんまは 6 万 6,070 t から 1 万 400 t（△84%）となっていますが、一方で、いわし類は 3 万 1,708 t から 13 万 4,700t と 4 倍以上の増加となっていることが特徴的です（図 4）。

図 4 海面漁業の主な魚種別生産量と推移（東北）



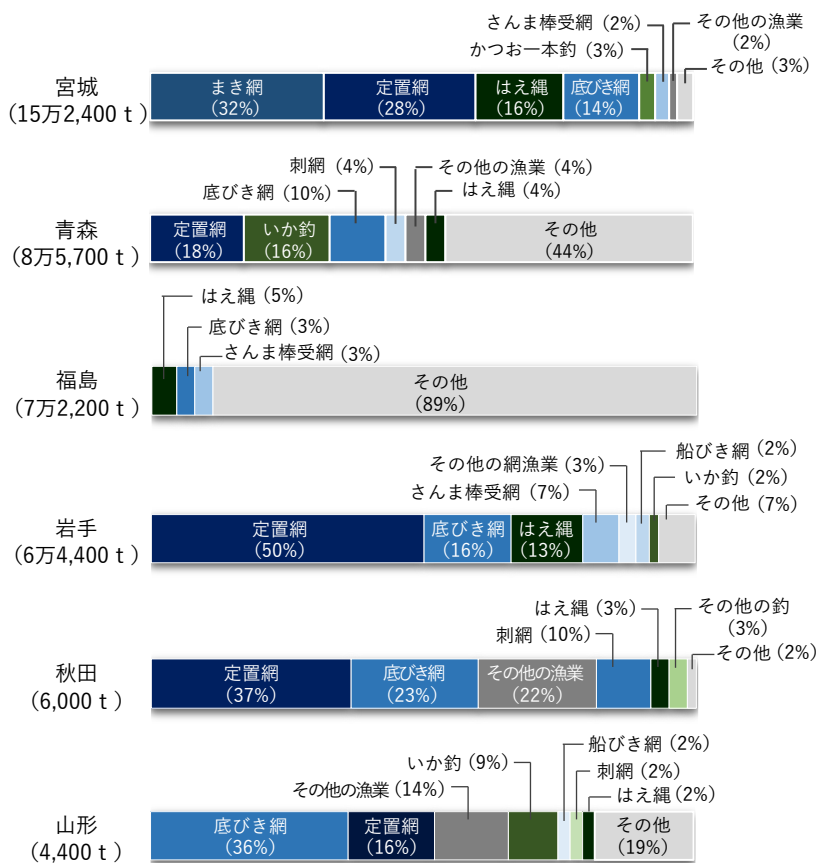
※ 主な魚種は、平成 22 年及び令和 2 年の生産量上位魚種

注：今回ご紹介した漁業・養殖業生産統計（令和 2 年）のデータは概数値であり、確定した詳細な数値は令和 4 年 1 月に農林水産省ホームページで公開予定です。

## 東北各県で営まれる漁業種類

図 5 は、東北各県における漁業種類別生産量の割合を表したグラフです。遠洋かつお・まぐろなどを漁獲するまき網、定置網やいか釣りなど、各県でどのような漁業種類を営んでいるのかがわかります。

図 5 東北各県における海面漁業の漁業種類別生産量割合（令和 2 年）



※「その他」は、各県の生産量計から表章した漁業種類の差である。なお、秘匿措置による「x」表示の漁業種類（青森県の船びき網、まき網、さんま棒受網、宮城県のひき縄釣り、山形県のその他の網漁業、福島県のまき網、ひき縄釣りなど）はその他に含まれる。

-お問合せ- 農林水産省東北農政局統計部統計企画課 電話：022-745-9378

漁業種類の詳細や魚種別生産量の推移がわかる累年データなど、「漁業・養殖業生産統計」の詳しい情報はこちらからご覧いただけます。

農林水産省ホームページ [https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen\\_gyosei/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/)

